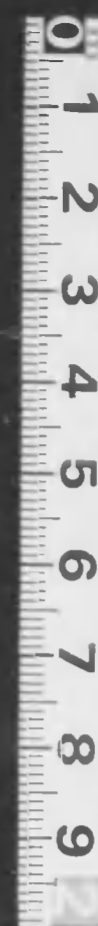


週寫眞
報

情 報 局 編 輯
五 月 廿 七 日 第 二 百 廿 二 號 十 七



時 立 の 札

(水曜日)

第八十二號

生死を超えた前線將士の戦友爱に
 幾度か、胸打たれ涙ぐみはしなかつたか
 國民すべてが戦線にゐるのだ
 僕等の、私達の周りにゐる皆が戦友なのだ
 銃後の隊列にゐる戦友たち
 街頭で、乗物の中で、商店で、あらゆる處で
 心と心の温かさを通はせ合はう
 そこに生まれる親切と譲りあひの美しくしさ
 それが銃後の戦友爱だ

皇恩 津々 浦々 洽に し 侍御 差遣 全を 國に 従えら らせらる

岩手種馬所を視
 察する久松侍従
 岩手縣



皇恩津々浦々に治し 侍従を遣はすに

岩手県

長くも 天皇陛下にはこのたび侍従を全国に御差遣あらせられ、大東亞戦争下民草が老幼男女相勞はり相勵ましつゝ、各職域に御奉公申上げてゐる實情を具さに視察せしめられる旨の有難い御沙汰あらせられました。

天皇陛下が民草の上に夙夜大御心を注がせ給ふことはいまさらにもふも恐れ多く、戦前には御多端な御政務の間にも屢々地方に行幸あらせ給ひ、またことある毎に侍従侍従武官等を御差遣あらせられましたが、このたびのやうに津々浦にまで侍従を遣はされたのは全く前例のない御事であつて、大御心のほど洵に懼れおほく國民の誰一人として恐慙感激しないものはありません。

聖旨を奉じた各侍従は北は北海道から南は沖縄まで一三府四十三縣にわたつてそれ／＼視察されることになつておますが、その先發の一人として久松侍従は五月九日東京を出發、十日から二十一日まで東北四縣約九十ヶ所にわたつて少しの休む暇もなく、或ひは草深い僻地に山田もる翁や姥、谷間に咲く炭焼く娘にまで親しく慰めの言葉をかけ、或ひは地下敷千尺の炭坑に黒ダイヤ戦士を激勵してその體験談を聴取するなどみちのくのすみ／＼にまで巡歴の旅をつづけられました。この有難い恩召を拜した同地方の民草は大御心の忝なきにたい／＼涙を流して、お客へ申上げる言葉も涙にうるむばかり、ひたすらわが身を碎いて聖慮を安んじ奉らなければならぬといよく決心を固めておます。

愛宕村耕地整理組合の土地改良状況を視察する久松侍従



傷痍軍人再教育所を視察、竹細工の講習をうける再起の勇士に慰めの言葉をかける久松侍従



水澤町では國民職業指導所の機械工指導所を視察、轉業者の機械工を激勵されました



相去村の私立六原青年道場で後援農村直木村を視察する久松侍従



宮古から十数里の間、有藝村農人の炭焼部落では窓の作り方から火入れ、出荷までの道程を細かく視察されました



茂市村では國民學校に設けられた巡回診療所を視察、村民の健康状態を聴取されました



宮古漁業組合では折からの鮫の大漁を願深く視察されました



コレドール島要塞陥落

五月七日

全島武器で固めたコレドール島に敵艦上陸を強行したわが部隊

五月七日コレドール島要塞陥落して、比島方面帝國陸海軍部隊の上に御褒賞の勳章として輝く。さきにベタン半島の戦定により敵主力を撃滅したわが陸海軍部隊の精銳は、その後周到な準備を整へ、敵艦を撃ぶこと二旬餘、五月五日コレドール島要塞に敢然上陸を強行、全島射撃の如く不落を誇つた敵要塞に至るな作戦を展開して、七日つひに同島及びマニラ灣口諸島の全要塞を攻陥した。上陸以來僅かに三十二時間、まこと世界戦史にその比を見ない勝々たる勝利の記録である。かくてアメリカが東亞に誇したすべての要地は覆滅され、帝國はこゝに必勝の戦略優勢をいよゝ強化するに至つた。



コレドールの地下要塞から白旗を掲げて投降してくる米兵の群。敵陣地に内薄して大砲放射器でトーチカを攻撃するわが勇士



捕はれた敵司令官ウエイム（左端）以下米軍幹部を引見する本間最高指揮官（右側中央）
殘存米比軍へ全面的降伏命令を放送する敵司令官ウエイム（左端）

★全ビマル平定近し



ビルマ作戦の大詰ともいってよいわが大包圍殲滅戦は、東はサルウィン河、怒江、西はチンドウィン河にわたり大鐵環を形成していた所に殲滅戦を展開し、めざましい戦果を挙げた。

兵隊さん御苦勞さんと水をサーブಿಸするビルマの婦人たち

部族に放火して退却する將軍を急追するわが戦車部隊

ラジオの高原を丁兵隊協力の下に進撃するわが戦車部隊

即ち、一月十七日泰緬國境に軍事行動を起してから僅かに百餘日、既に首都ラングーンを陥れ、マンダレーを抜き、ラオスを攻略し、五月八日には英聯邦軍最後の據点であるミトキーナを陥つた。

わが精銳部隊によつてビルマ鐵定の日は、日々近づきつゝあるが、この結果は、ビルマ全境をあげて其榮國の傘下に收めるとともに、インドの英印軍に戦慄的な脅威を與へビルマを完全に遮断して重慶、米英の連繫を切斷し、今次大戦完遂に飛躍的な段階を劃するといふ重大な戦略的意義をもつものである。



米英頹勢挽回にあがく

大東亞戰爭勃發以來やがて半歳、いまや世界の列國は如何なしに日本の實力を見直した。その結果、獨逸獨伊等がわが頼もしさに勇氣百倍したことは當然のこととして、とくに米英等敵方が、これまでの對日侮侮から一轉して慎重な態度へと變り、持前の非道ぶりをいよ／＼露骨にしなから、機會あれば輻輳陣に切り込まうと、ひそかに毒牙をみがいてゐることは、われ／＼の特に警戒を要するところである。かくて双方寸分のゆるみもない険しい息づかひの中に、世界大戦は次第に本格的な第二段階に入らうとしてゐるが、この場合に、最近の國際情勢に眼を放つて、われ／＼もまた今後の戰局に立向ふべき、いそがしにも昨秋の國情を養ふよすがとしてしよう



大東亞戰爭勃發以來やがて半歳、いまや世界の列國は如何なしに日本の實力を見直した。その結果、獨逸獨伊等がわが頼もしさに勇氣百倍したことは當然のこととして、とくに米英等敵方が、これまでの對日侮侮から一轉して慎重な態度へと變り、持前の非道ぶりをいよ／＼露骨にしなから、機會あれば輻輳陣に切り込まうと、ひそかに毒牙をみがいてゐることは、われ／＼の特に警戒を要するところである。かくて双方寸分のゆるみもない険しい息づかひの中に、世界大戦は次第に本格的な第二段階に入らうとしてゐるが、この場合に、最近の國際情勢に眼を放つて、われ／＼もまた今後の戰局に立向ふべき、いそがしにも昨秋の國情を養ふよすがとしてしよう

ほひもよき五月八日、先づウクライナの南端クリミア半島方面に火蓋を切つた。

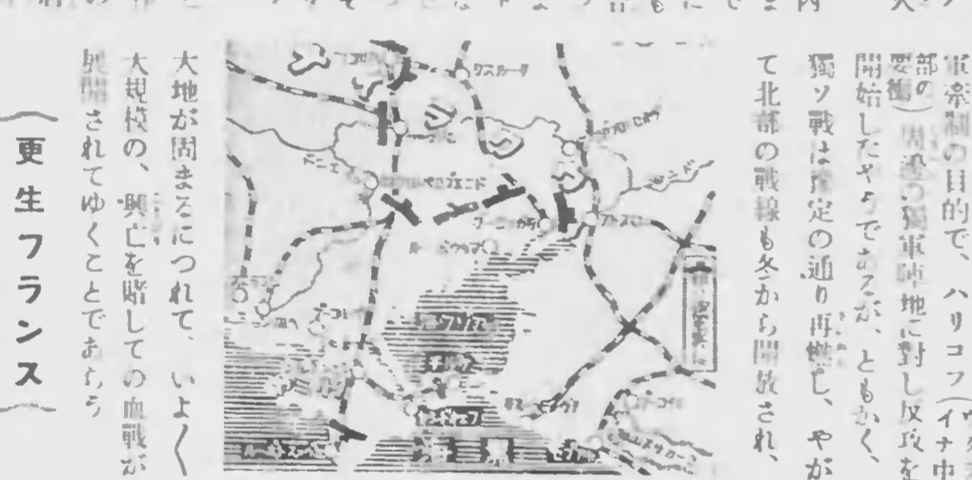
昨年十二月初旬、ドイツはソ聯領内深く攻め立て、首都モスクワに一步の所までソ軍を迫つたのであつたが、不幸にも皆てなし殲滅に突かれて、流石のヒトラー總統も今春まで對ソ戰線の出撃を一時見合せると發表しなければならなかつた。この發表をみた米英は、例によつて獨逸の敗北を初め、ヒトラーは第二のナポレオンであつたと、全世界にいひふらしたものである。しかしこれに全く米英の落ちあけたデマで、知る人ぞ知る、その後五ヶ月、獨逸は十二分に休養をとり、戦力をととのへて、来る春を待つてゐるのである。

果して、ヴォルガの水ゆるむとみるや、ルーマニア軍との緊密な作戦のもとに、突如クリミア半島の突端、黒海との要港ケルチに據居するソ軍に大攻勢を展開し、これを撃退してロストフ(近き重要都市)を猛撃、さらに北の方レニングラー

ド、カリマン地方(ドの東南方)の猛攻等、全面的に獨逸の出撃は活潑となつてきた。沈鬱な冬の五ヶ月を離れて立ち上つた獨逸は、前線に湧き立つてゐると傳へられるが、なかでも南部戦線では、またしても新兵器を繰り出して、ソ軍の意表を衝いての快撃が行はれてゐるやうである。

かくして、獨逸は早くもケルチ半島を攻略、十三日には獨逸軍司令部に、この方面でソ軍四方を捕虜にした旨發表したといはれる。一方、ソ軍もまたクリミア方面の獨逸軍を牽制する目的で、ハリコフ(ウクライナ)方面に獨逸軍陣地に對し反攻を開始したやうであるが、ともかく、獨逸は豫定の通り再戦し、やがて北部の戦線も冬から開放され、再び對ソ猛撃に移つたが、他方において、イタリアその他ヨーロッパの各盟邦とともに、着々、歐洲新秩序建設に努めてゐる。これは相共に世界新秩序達成を終局の目標としてゐるわれ／＼の喜びとする所である。即ち大東亞におけるわれ／＼と同じやうに、獨逸は歐洲に残留する米英の毒素を急追するとともに、いまをしきりと歐洲自給自足の確立に馬力をかけてゐる。かうした中であつて、最近フランスがラヴァル氏の内閣結成によつて、俄かに輻輳陣に近しいものとなつたことは、低迷久しかりしフランスであつただけに、歐洲に一段と明るさを加へるものといはねばならない。

前にも、フランスが獨逸の精銳の前に一敗地にまみれたのは一昨年六月、以來滿二年が経過した。いつたこの間、敗れたフランスは、何をしたといふのであらうか。たれしも不審に思ふところであるが、要するに非占領地域のフランス治政に當つたウイシー政府當局の不決斷が、なすな／＼日を送つたものと思はれる。つまり半心は獨逸の側に傾きながら、半心はこれを、恐ろしいとしない氣持があつたからであらう。さういふ日和見主義のため、米英の精銳する餘地が残されたのであり、フランス再建のため對獨協力をとつたラヴァル氏の如きウイシーを道はれねばならなかつたのである。



大地が固まるにつれて、いよ／＼大規模の、興亡を賭しての血戦が展開されてゆくことであらう。

更生フランス

日和見主義を清算

ドイツは對米英戦に備へる傍

大東亞戰爭日誌

八日 ●ビルマ方面陸軍は敗敵を殲滅し、五月六日雲南省怒江東岸に進出、八日ミイトキーナを完全占領

十日 ●海軍はポートモレスビーおよびポーターウィーンに對する攻撃と同方面味方基地上空における交戦により四月二十一日より日本までに敵機百二十機を撃墜、五十一機を撃破、この間我方の損害十二機、●ビルマ公路上沿ひ進軍中の陸軍は、怒江を占領し、●密着水陸の連戦以來日本までに撃沈せる敵船の累計(一)太平洋、ハワイ方面十五隻(一)一万七千七百トン、(二)西南太平洋方面十五隻(九千六千トン)、(三)インド洋方面三十五隻(二十四万六千三百トン)、(四)合計六十五隻(四十四万四千トン)

十一日 ●ビルマ方面陸軍の獨逸軍五ヶ月間における綜合戦果發表(一)敵飛行場攻撃延回数二百六回、(二)敵飛行場破壊機五十四機、(三)敵自動車、自動貨車千二百三十三輛、(四)敵戦車、裝甲車千五百四十三輛、(五)敵砲車、裝甲車千五百四十三輛、(六)敵砲九十二隻、(七)敵砲六十六隻、(八)敵砲六十六隻

十三日 ●印緬國境方面陸軍はカレワ附近にて約二万の英軍主力を撃滅、その戦果、遺棄死傷二百、擄獲品、自動車二千輛、戦車百十三輛、火砲四百二十一門、銃器七百二十二挺

十六日 ●比島方面陸軍のコレヒョル島およびマニラ灣比島要港攻略戦において収めたる戦果發表(一)俘虜二万二千四百九十五(大部分アメリカ兵)、遺棄死傷六百四十一(一)擄獲品、火砲二百六十六門(うち十四インチ砲はじめ重砲八十三門を含む)、戦車、戦車および自動銃六百八十五、小銃および歩兵銃五千二百、自動車千二百七十一、飛行機八、砲彈十萬三千發、擄獲品八十九萬發、糧食十萬五千發、一万人に對する二ヶ月分

汪主席滿洲國訪問

満華兄弟の實を示す



高々と杯をあげて、日滿華の廣
きを祝する汪主席と張國務總理

坦々たる大同大街を沿るや
うに進む汪主席一行の禮車

中華民國國民政府汪主席は五月七日正式に滿洲國を訪問された。

滿華の兩國は昭和十五年十一月三十日に調印された日滿華共同宣言によつて兩國政府が正式に承認し合つて以來、日と共に親善の度を深め、日滿華共同の理想にたがつて、兩國が互にその本然の特質を尊重しながら、東亞にあつて道義に基づき新秩序を建設することを誓ひ合つて、善隣としてしつかりと手を取りあひ東亞恒久平和の綱軸を形づくことに力を盡してきたのである。

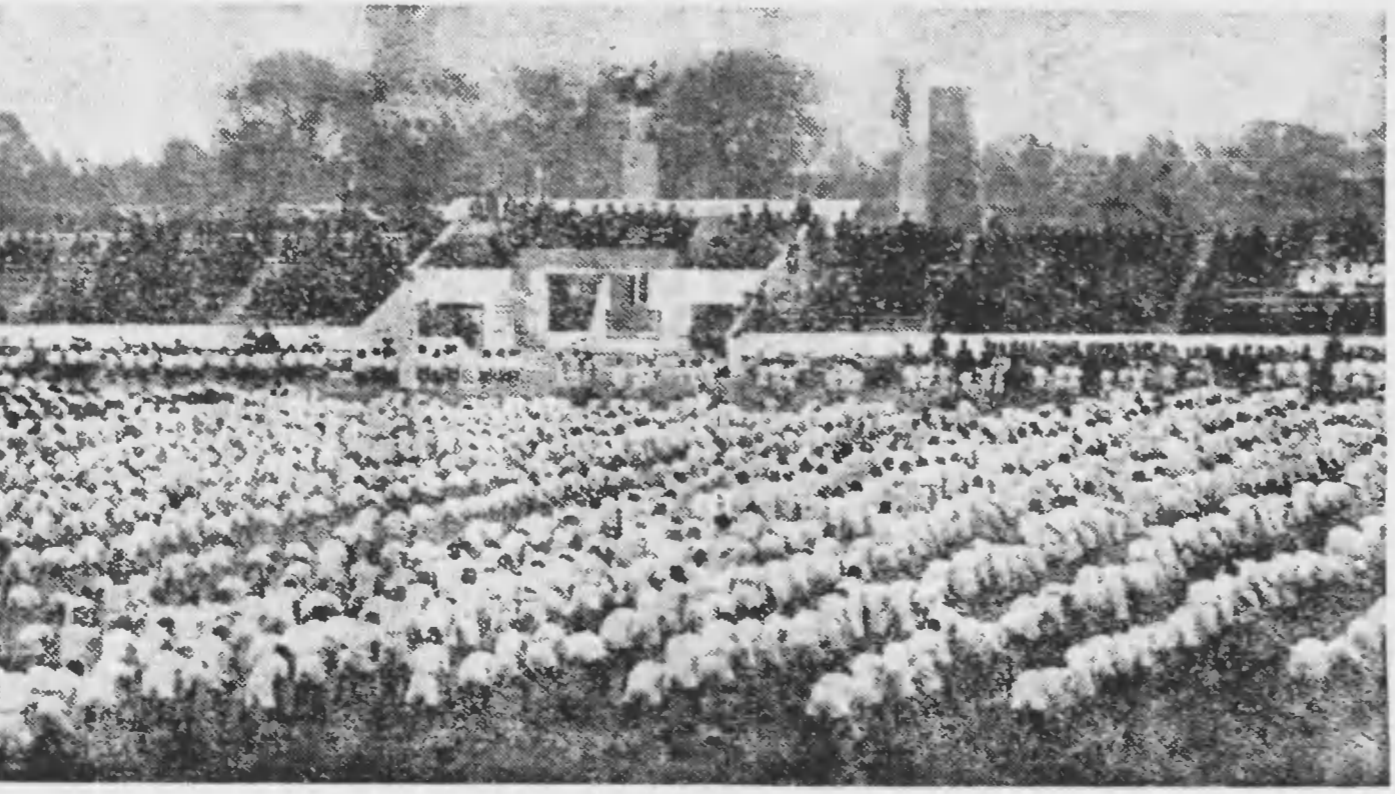
その今度の汪主席の滿洲國公式訪問は、滿華の關係をその本然の姿に還すことに一層の拍車をかけると共に、これまでの友好善隣關係をより固いものにしたことはもとよりいふまでもないことだが、とかく重慶あたりのデマに使はれてゐる兩國の立場を重慶等のデマ宣傳の喧ひ入る餘地もないほどはつきりと兩國國民をはじめ全世界に示したことは、最も大きな收穫ではないか。

滿洲國皇帝陛下には、とくに帝室の賀賓として御殊遇あらせられ、五月八日には汪主席を謁見し、固き御交際の御稱手を交させられたのでしたが、その他わが海軍東軍司令官、張國務總理をはじめ朝野との交際を重ね、兩國國交に歴史的な交際を遂げました。



一方、飛躍的に發展した建國十年の滿洲國をつぶさに観察されたのですが、このことは和平建國を聲明して起つた新中國の前途にます／＼輝かしい希望をもたらすとともに、大東亞戰況を目前にせし日滿華三國の協力體制に劃期的な意義をもつものであります。

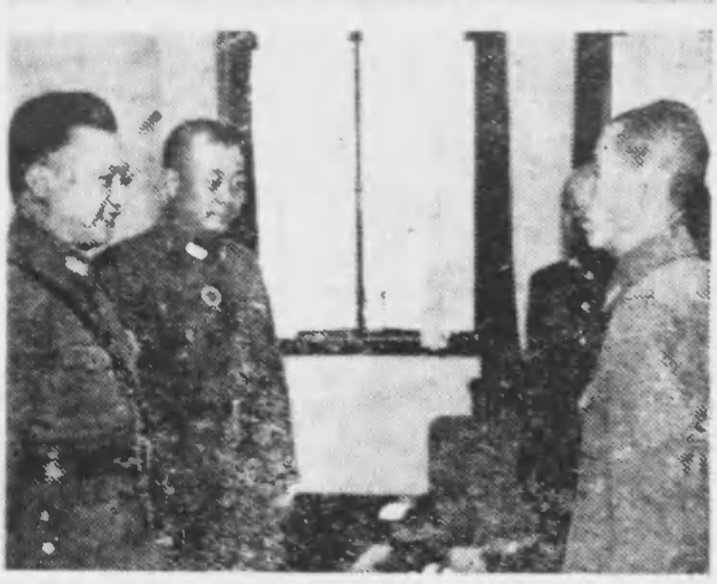
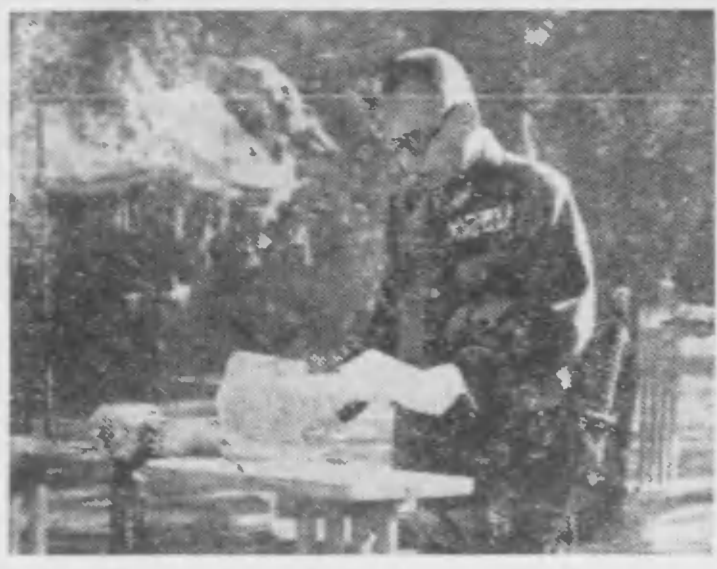
國民歡迎大會に盟邦元首を迎へて、建國路線に勝利の意氣を示す滿洲國協和青年團員



國民的熱誠こめた協和會主催國民歡迎大會に臨んだ汪主席は歡迎に對する謝意と喜びをこたへるに及ばぬ熱烈な歓迎を受けた。

新生中國

朗報三つ



大東亞戰爭の結末たるわが戰果に呼應して、國力の充實に、治安の回復に、一路健全な歩みを續けてゐる新生中華民國の姿。この平和にみちた姿こそ、何物にもまさり、はつきりと東亞の運命を決定するもの、長きにわたる苦難を乗り越へた、不屈の精神、勇往の姿、勇気として現れることのない、平和主義に對する、何よりもよき批評、一瞥にして、彼らに目ざめざるの便を感得するもの、はなから、か

二、に新中國最近のニュースから和平に和らいたるの姿の二、三を拾つてみよう。

【寫真上より】

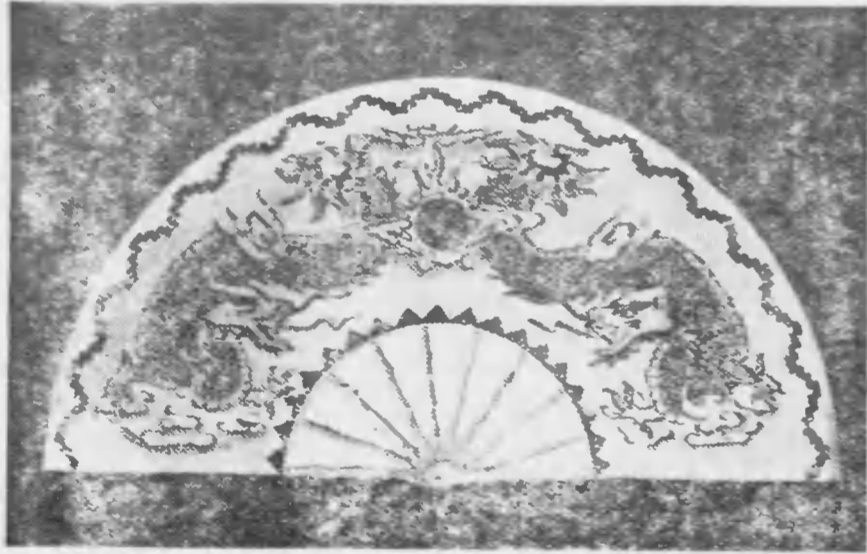
華北の建設にたふれた純忠の英雄を尊める北京支那同盟會は四月二十七日老柏の饗賓北京支那同盟會支那最高指導官李主席となり、饗賓に執行され、1 席前に祭詞を奏する支那最高指導官、2 参列の凱歌

3 抗日の果をさとり、麾下二万五千の手兵を率ゐて驍然と和平陣營に参加した重慶警察機關警備隊司令官孫良弼將軍はわが支那支那派軍司令官の前に出陣を告げた。

4 たとへ重慶側が何といはうとも、和平地域の青少年は新中國の理想を胸に刻み、熱烈と奮つてゆく。南京學生運動大會



田種象時 サイゴン附近はわれわれの食べる外米の本場です



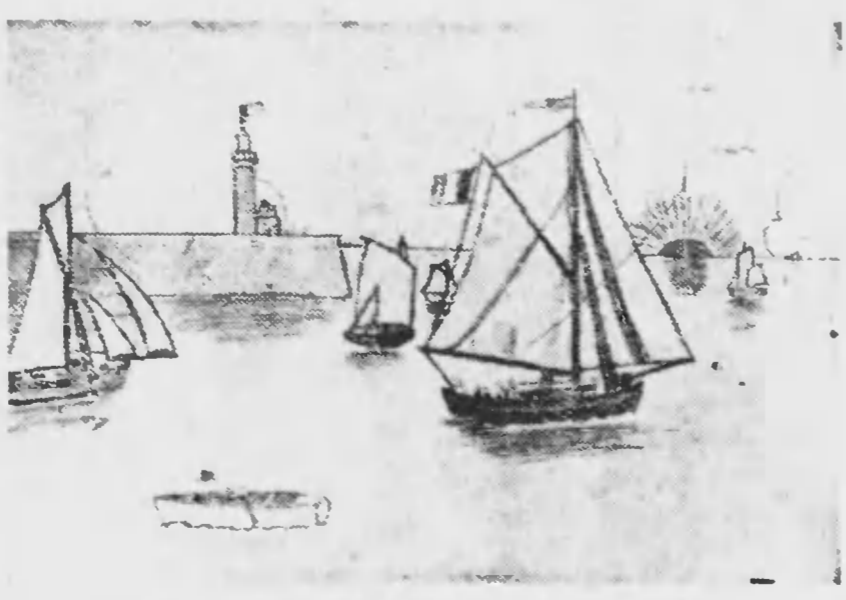
すていしら意得おが本圖はちた女少年少の印佛 案圖の扇



たしまき描がんまーリマの校學民國人スラフ 家おの私



すて童兒の校學民國人ンナンアはのたい描 丸入り種



すて品作の童兒の校學民國人スラフ 場止波

◎ じ返まの絵らかちだ友まの印佛 ◎

日本の國民學校の皆さん方は先だつて前線へ勇士慰問の繪を送りましたね。あの繪の一部は佛印のフランス人學校や安南人學校等で『日本の子供たちはこのキライに皇軍慰問につとめ、大人と一體になつて、大東亞戦争を戦つてゐる』といふ聲明をつけた『日本兒童繪畫展』として展覽されましたが、あちらの子供たちに大へんな人気を呼び、それではわれくもとサイゴンを中心とした國民學校、中學校、女學校の少年少女たちが書いた作品がこんど情報局に届きました。これはそのほんの一部です



品作の生年一校學女人ンナンア 景風外郊ンゴイサ



品作の生學女人ンナンア くつ近祭おの寺お



生學女人ンナンアのンゴイサはのたい描 んざ頭船の女



たしまき描が生年一校學中人ンナンアのンゴイサ 馬かだは

サイゴン河を流れる

蔣介石の肖像

南 佛 印 片 々

わが結々たる戦果と並行して最近における佛印の動向は、大東亞戦争前に比べて其空圏の協力者としてますます積極的となつてきたその協力する積極性の二、三を拾つてみよう

南の國の朝は小島の嶺りと共に非常に早く明けける。佛印の街々もこの小島の嶺りからめざめ、辻々を流れる物資の音がさわめき終ると商店街の扉が開かれ、朝八時頃がこの時刻である。朝八時になると灼熱の街の動きは活潑になる。しかし日差しが斜めから直射になり、正午ともなればあちらの街、こちらの街の店頭は一齊に扉が下され、晝寝の時間が始まる。約けつてやうな陽を避けて午後三時頃まで、この晝寝のために街はまるで死んだやうに全ての機能は停止する。午後三時、晝寝から起き上つた街の活動は再び活潑となり、五時頃まで続けられる。そして後は家族連れの散歩姿が街にあふれる。かくして佛印の一日は幕れる

佛印の支配権を握るフランス人や住民の大部分を占めるアンナン人は共に輝く日本の戦果に安心しきつて、平和のうちに進駐した皇軍と手を組んで新秩序の建設を擔はうとしてゐる。かうした民意を代表するやうにドクレー佛印總督は最近(去る五月十二日)行つたわが新聞記者團との會見で、其空圏内のいろ／＼な問題について次ぎのやうに所感を述べてゐる

問一日本と佛印との間における経済協定は今後、緊密にならなければならないと思ひますか
答一日本との通商協定は昨年(一九四一)五月六日に東京で調印された日佛印經濟協定によつて決められてゐます。佛印はこの取極めによつて日本から、こちらでなくてはならない品物を買ひました。またこれと同時に日本へは米を賣りました。このやうに今後は貿易を通じて、現物の度を加へてゆくものと信じてゐます

問一東亞共榮圏を建設するといふことについて、佛印はどうか
答一佛印はいろ／＼な産物に恵まれてゐる東亞經濟においては重要な地位を占めてゐます。殊に農業とか種産の面で目立つてゐます。現在佛印から、ゴム、植物油、石炭などは東亞共榮圏内にはなくてはならないものであります。ですから佛印はこの大切な原料品を共榮圏内の國々へ供給します。しかしこれと同時に佛印は工業製品

の生産をはからなければなりません。ところがご存知のやうに原料國である佛印は工業施設や農産器具のやうな工業器材はほとんど佛印に求めなければなりません。そこで佛印は東亞の經濟において原料を供給する代りに、共榮圏内の國々から必要な工業器材を買入れるといふ相互貿易をはかつて東亞共榮圏の建設に貢献しようと思ひます

問一兩國の文化關係について
答一兩國の文化關係を行ふといふことは、これによつて兩國がお互に知り合ふといふ最も良い方法です。佛印總督府としても兩國の文化の交流をはかることに深い關心をもつてゐる。日本特派大使と佛印對日事務局及び佛印教育局の間いろ／＼と具體的な取極めを進められてゐます。その中で佛印側としては東京において現代佛印繪畫展を開催しようと思ひます

サイゴンは佛印の中樞地點であり、北のハノイとともに、文化的な色彩の高い都會である。サイゴンといへば外米と、すぐ思ひ出すあのサイゴン米の生産地でもある。しかし大東亞戦争下にあつては、外米の生産地であると同時に、サイゴンは日本から南方への重要な基地である。日本—サイゴン—昭南島—ジャバ、スマトラへ、日本—サイゴン—フィリピンへ、日本—サイゴン—ボルネオへ、等々まさに海と空の中樞地點である。従つてこゝへは東京の香りが、いや日本の各地の香りがそのまゝ送られてくる。そして昔を南溟の地に埋めようとする新しい希望に輝く同胞によつて東インドが語られ、マレーが語られ、支那が語られる。一步街に足を踏み出せば共榮圈内だといふ感じが強い。どこかのホ

テルの廊下でも同胞のゐるところ、日本の南方へ伸びる動脈をここに感じ、美しい日本人クラブの會館もでき上つた。きれいに舗装されたアスファルト道路には派出な色彩の自動車群に交つてカーキ色の日本の自動車も疾驅してゐる。たゞこゝでは左側通行主義の皇軍の勇士たちによつて、右側通行の佛印交通道徳がはじめのうちはつかつたらうと思はれる。しかしこの頃ではこの運轉も土地風になつて、カーキ色の日本の自動車から手を振れば、フランス人の自動車も驚愕するほど右側運轉も板につき、佛印の一朝景をかもし出してゐる

佛印の米の集散地シロンの街は華僑街といはれる支那人街である。こゝには大きな米倉や精米所が立ち並び、一つの偉觀さへ呈してゐる。農業國佛印の心臓はシロンであり、この心臓を握つてゐる華僑の勢力の大きかつたことは當然であつた。されば佛印抗日華僑の中心がシロン華僑にあつたことは不思議ではなかつた

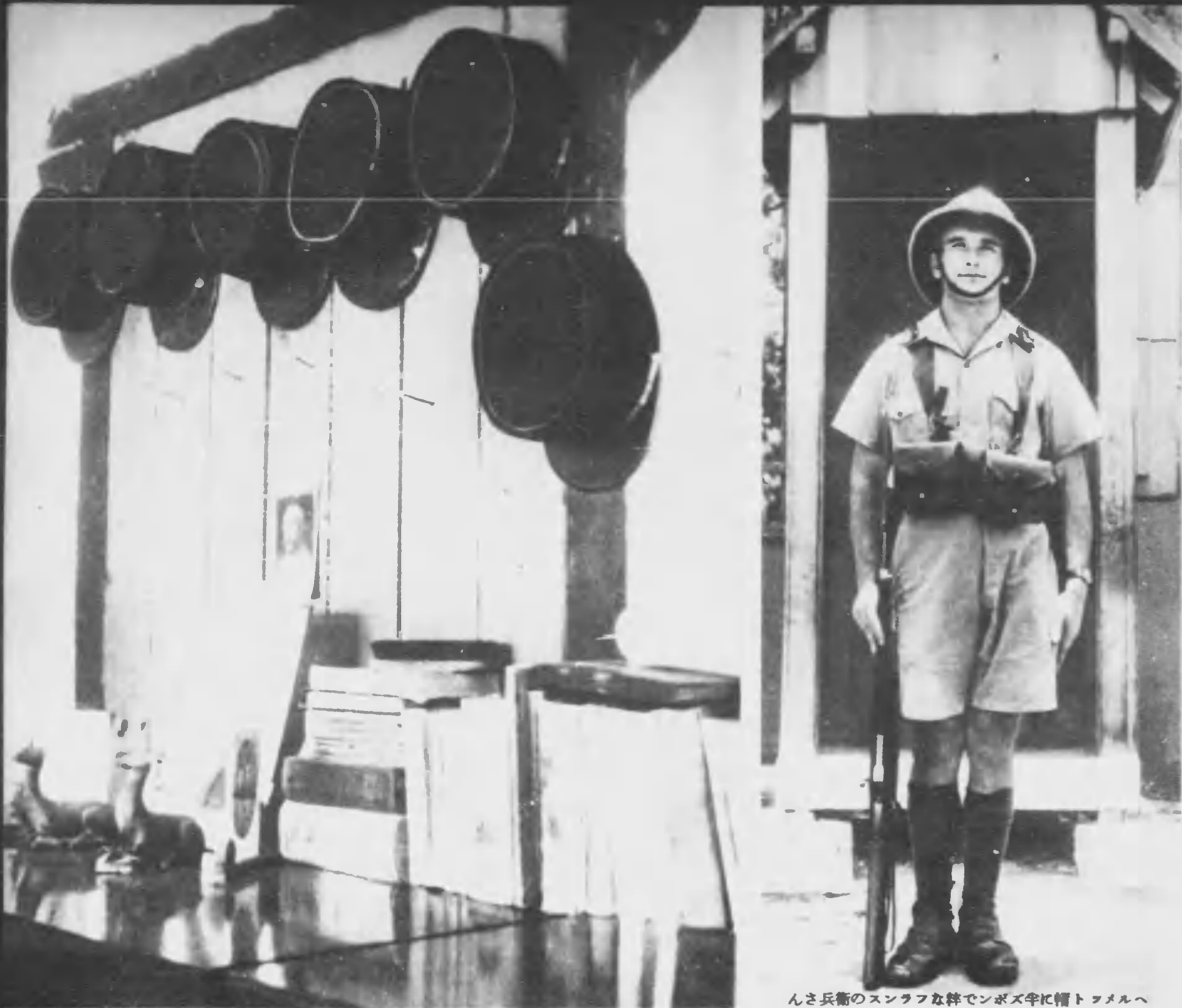
しかしかつては抗日の中心であつたシロンも大東亞戦争後は大きく姿を變へてきた。街のどの料理屋でも、どの宿屋でも蔣介石の寫眞を掲げてゐるが、いまではすつかり影をひそめ、歡樂場などの入口には汪主席の大きな肖像が掲げられ、訪れる日本人にお愛想をいふあたり、これが最近まで抗日

日の果であつたのかと目をみはらせる

一望千里の田圃から獲れた新米は既に出廻り、サイゴン河の川筋に立ち並ぶ倉庫の米の出入れも賑やかで「この米もどし／＼日本へ送りますよ」と國不船の積米作業は活気に溢れてゐる

サイゴン市内の劇場は洋畫とともにわがハワイ海戦の國貨的な映畫を初め、皇軍の各地における活躍の様子を寫したニュース映畫が上映されてゐる。この映畫を觀てフランス人やアンナン人は人前もなく驚歎の聲を放ち、英兵俘虜のうらぶれた姿を發見したアンナン人は「日本は強い」を連發、いまでも知らなかつた東亞の盟主日本への關心を率直に現はしてゐる

現地民衆の日本に対する關心は日一日と昂まりつゝあるが、ヴィシー政府もこの空気を察し、去る三月二十日の政府令で「植民地官吏資格免許」のため佛印の全學校の課業に日本語を編入させることになつた。また街における日本語熱は相當なものである。東亞旅行社から出したアンナン、フランス、日本語早わかり書が飛ぶやうに賣れたり、店の番頭たちがノート片手に日本人のお客がしやべつた言葉をメモして一日も早く日本語を覚えようといふ熱を上げてゐる風景がみられ、佛印の新しい息吹きが感じられる



へメルト帽に半ボズで林なフラス兵さん

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

六 月

一日 〇〇〇〇

二日 〇〇〇〇

三日 〇〇〇〇

四日 〇〇〇〇

五日 〇〇〇〇

六日 〇〇〇〇

七日 〇〇〇〇

八日 〇〇〇〇

九日 〇〇〇〇

十日 〇〇〇〇

十一日 〇〇〇〇

十二日 〇〇〇〇

十三日 〇〇〇〇

十四日 〇〇〇〇

十五日 〇〇〇〇

十六日 〇〇〇〇

十七日 〇〇〇〇

十八日 〇〇〇〇

十九日 〇〇〇〇

二十日 〇〇〇〇

二十一日 〇〇〇〇

二十二日 〇〇〇〇

二十三日 〇〇〇〇

二十四日 〇〇〇〇

二十五日 〇〇〇〇

二十六日 〇〇〇〇

二十七日 〇〇〇〇

二十八日 〇〇〇〇

二十九日 〇〇〇〇

三十日 〇〇〇〇

皇軍をなみな

佛印はついに戦禍を免れた。それはいふまでもなく佛印が日本の實力を信頼し、日本と共同して自らを防衛したからにはかならない。事實、皇軍の懸たる威武は米英の野望をうち砕き、佛印に一指を染めることをも許さなかつたのである

この皇軍の優れた組織と、うちてしやまぬ精神とは共同防衛の友佛印の兵士たちに妙からぬ刺戟を與へたやうだ。佛印軍隊における指導方針や教練内容に最近格段の飛躍が現はれるのはもつぱらかうした影響によるものであらう

佛印の軍隊は本國の陸軍部とは別個に植民地陸軍部を構成してゐて、その編成は正規軍と住民軍に分れてゐる。正規軍は佛印部隊、混成部隊、住民部隊、外人部隊などを含み、ハノイ、サイゴンに各師團及び師團司令部が置かれ、これにトンキン獨立旅團、印度支那砲兵隊、印度支那航空隊が加はれるから、つまり五軍團を形成してゐるわけだ

親衛派の巨頭ラヴァル氏の新内閣組織によつて佛本國の樞軸側接近が伸べられるとき、サイゴンにある第十一聯隊の兵營生活に佛印軍隊の横顔を覗いてみた

佛印の兵隊さん

士官室。お行儀よくならんたフランスの軍帽の下にはハタン首席の寫眞も飾られて

在佛印 久宗深尾 兩特派員



皇軍のなみふ
印の兵隊さん

- 1 人量をいれてこの兵隊さんいとも御満足の顔である
- 2 演習を終えて兵營へ。我々は汗と泥まみれだが兵士たちは元氣一杯だ
- 3 テニドモの大演習に活躍する機關銃隊
- 4 実戦路を開く、歩兵部隊の猛訓練
- 5 酒保のひとつとき、兵營の生活でもわいわいと彼らは彼らしく甚だ快活だ
- 6 讀書室ではフランス本國の新聞や雑誌がひつぱり嵐だ
- 7 兵營内の士官用プール軍服脱いだ兵隊さんたちの河童訓練



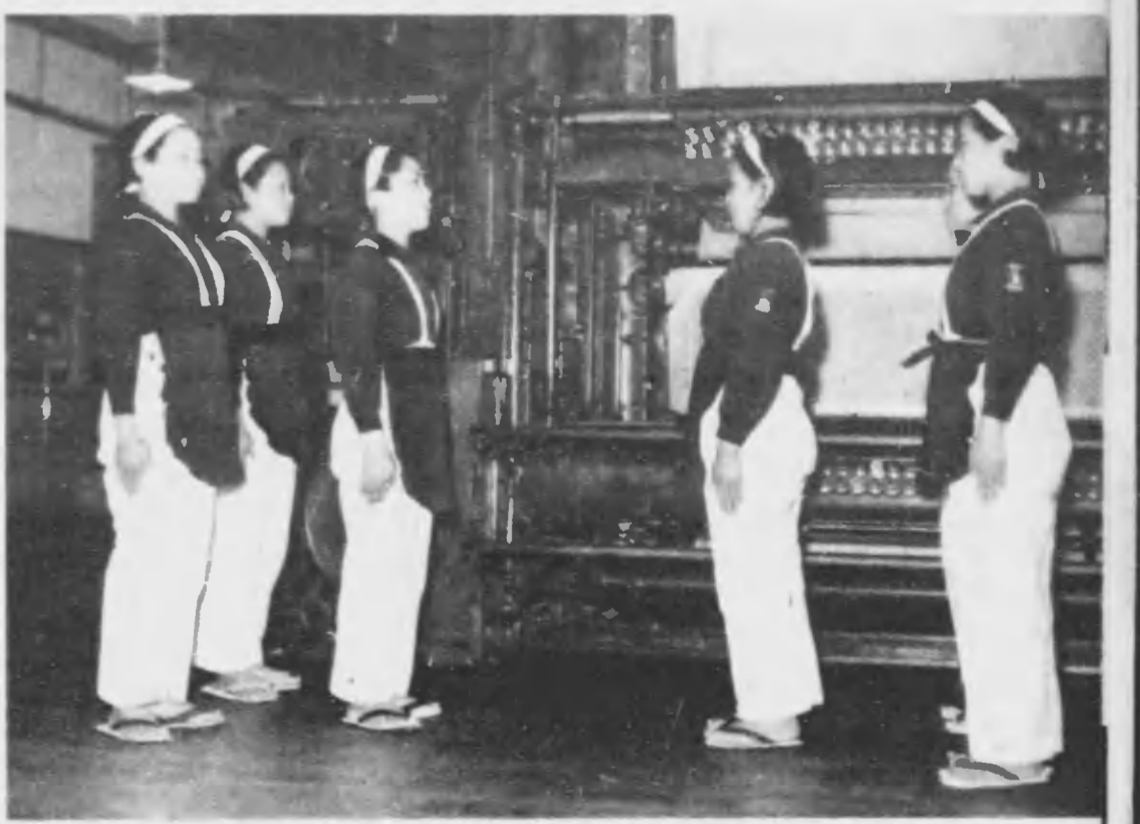


朝霧が赤城山に吹き舞はれた午前四時起床。室内黙祷を終へた女子工員たちは鼓笛隊の君が代吹奏のうちに朝霧を行進。
 霧組、月組、花組中隊全員集合と鑼鑼が叫ぶ、午後一時は勤務交代時である。元気に女子工員の中隊長が勤務中異常の有無を過激勤務者に報告する。過番から工場長へと勤務報告の要領はすべて軍隊式



織は舞はる機械の歌

場工スーレ川北 外市生桐



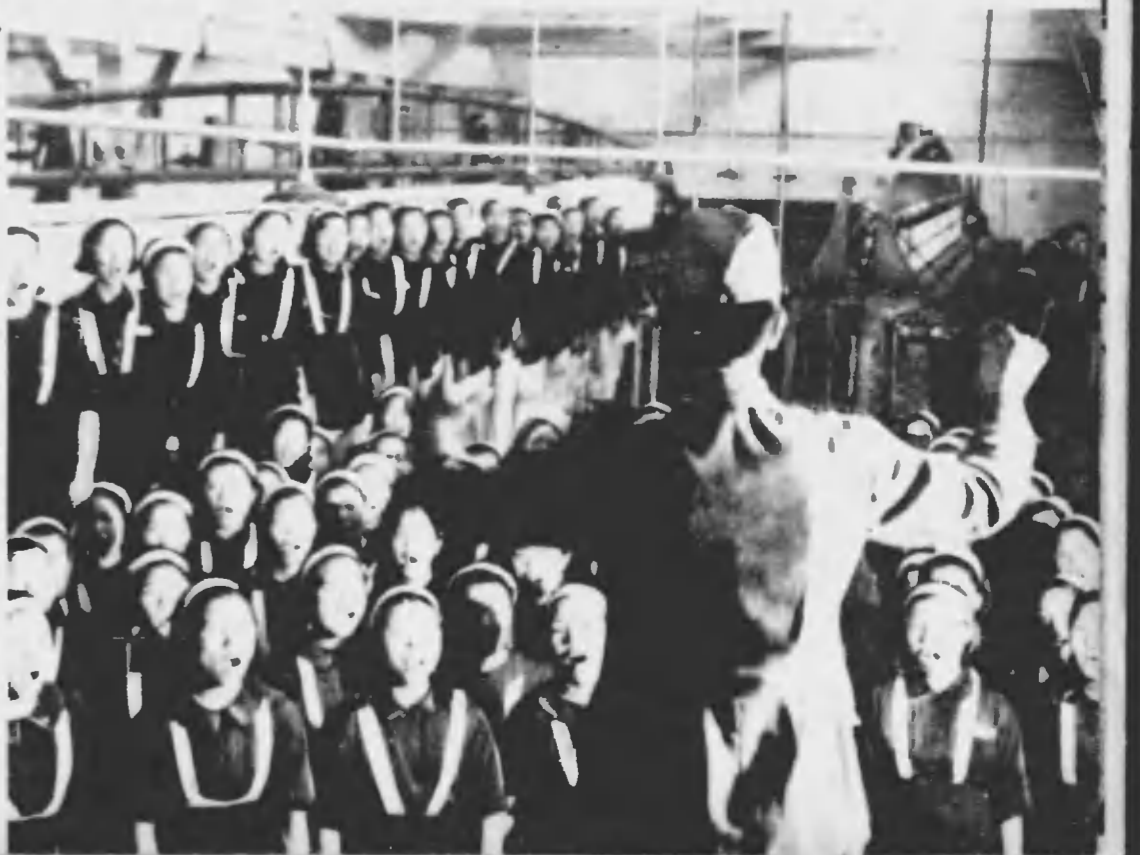
朝霧機械場では上番の女工員「針一本故障の他異常なく申送ります」と下番女工員が引きつぎをしてゐる

た群馬縣桐生市外の北川
 レース工場である
 軍隊式な工場 現在この従業員は二十歳以下の女子百名、男子十五名の世帯だ。作業は朝五時から午後二時まで、二時から午後十一時までの二部制で全部寄宿舎に合宿してゐる。女子労働者はみんな産前女子青年隊員、大隊編成で中隊長以下分隊長まで女子がやつてゐる。命令復讐、申告、報告などもすべて軍隊式の様式を採り入れ、お河童頭の少女が操手の體も元氣よく隊長に報告復讐してゐる

音楽工場 『最初音楽を聴いてゐるうちは能率がや、下るやうですが、音楽が止むとみんなの気分が一緒に作業に轉換して今度は能率が上ります音楽のリズムはたしかに疲労を揉みほぐしてくれ、ます一長い音楽教育の経験を通して音楽による作業能率の向上を工場では語る

休憩時間がきた。直ぐさま分隊の放送が始まる上手も下手もない壁一つ隔てた放送室から歌が飛び出し、レコードが鳴りバンドの音が響く

厳格な規律のなかに和やかな音楽が調和し明るい楽しい職場に作業能率はぐんぐん擧げられる



上番（これから勤務につくもの）下番（勤務を終つたもの）の全員は工場長の指揮に合せて合唱し、和やかに一方は職場へ一方は休養につく

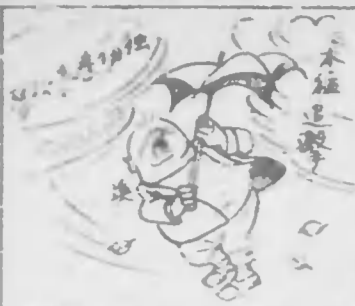


下番者の中から選ばれた女工員が美しく歌声が勤務中の工場へ放送される

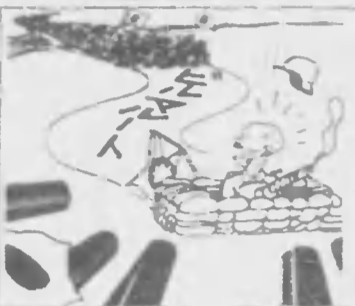


機械の響音が音楽化され機械と人とが渾然一體となつて、彼女等の働く手は強ひの寂寞の戸欄には女らしくお人形、千代紙笥などのある中に日の丸の旗が飾られてゐる

大東亞戰爭漫日誌



本陣退却



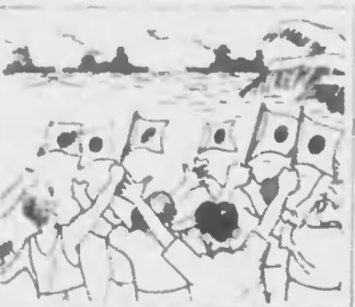
二存命危



一撃入きは日軍海軍



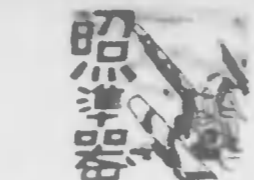
撃空軍は日軍艦隊



港入を断絶我



る主結治政治國軍



まじはりすまで

力なくては

相手を

力なくては

相手を

全半島は五月晴れ

朝鮮に光明の年より徴兵制度実施



撮影 京城報道写真工務社

半島同胞にもいよいよ明後年から徴兵制度が実施されることになつた...

施行告発並びに宣誓式を舉行したが、このほか各地にも盛大な祭典が行はれ、その感激、その歡呼は五月晴れの全半島に沸騰した。

宣誓式における南朝鮮總督の告辞、朝鮮徴兵制度実施宣誓式全景、半島同胞は一際明るく式場につめかける愛國班員、上左。この日、感涙一入深く式場にのぞむ志願兵訓練生。

復讐堂

- 本堂からあなたは何かを盗んだせうか？ 最近重慶では國民總動員法に...

寫眞週報

寄真週報 藝藝 寄真週報 藝藝...

富貴週報

昭和十一年三月二十一日

勝たねばならぬ
貯めねばならぬ
230億円



東海銀行 本店 名古屋

内閣印刷局印刷發行

列強報週刊A4幅定額はさき大のり